

2022年度 日本頭蓋顎顔面外科学会

専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から順に着席してください。

試験時間

14:00

～

14:30

1. 小児の顔面骨骨折における特徴で誤りはどれか

- a) 小児では成人に比べ、顔面骨骨折を起こしやすい
- b) 成人と比較して、小児の頬骨骨折は比較的稀である
- c) 小児の下顎骨骨折では、偏位が少なければ非観血的整復固定が推奨される
- d) 骨折を各種プレートで固定する際には、未崩出歯牙も念頭に行なう必要がある
- e) 小児の眼窩底骨折では、骨折が軽度であっても眼窩内容物の嵌頓に注意が必要である

2. 眼窩を構成する骨のうち、誤りはどれか

a) 篩骨

b) 頬骨

c) 前頭骨

d) 側頭骨

e) 口蓋骨

3. 顔面神経下顎縁枝の通る層はどれか

- a) 真皮直下
- b) 脂肪中間層
- c) 広頸筋の直上
- d) 広頸筋の直下
- e) 顎二腹筋の直上

4. Le Fort I 型骨切り術の骨切り部位で誤りはどれか

- a) 鼻中隔
- b) 上顎洞前壁
- c) 上顎洞外側壁
- d) 頬骨前頭縫合部
- e) 翼突上顎接合部

5. 顎顔面の骨欠損に対する骨移植について正しいものはどれか

- a) 下顎骨欠損に対してFree Bone Graftは禁忌である
- b) 上顎骨・下顎骨欠損に対してBare Bone Graftは禁忌である
- c) 血管柄付き肩甲骨皮弁の血管柄としてangular branchを用いる
- d) 血管柄付き腸骨皮弁の血管柄として外側大腿回旋動静脈を用いる
- e) 上顎全摘術後の骨欠損に対して橈骨付き前腕皮弁移植が第一選択である

6. 頭蓋縫合早期癒合症について、正しいものはどれか

- a) 舟状頭蓋は冠状縫合の早期癒合により生じる
- b) Saethre-Chotzen症候群では、眼球突出を生じる
- c) 頭位性斜頭では、頭蓋縫合の早期癒合を生じない
- d) Crouzon症候群の発症には、TWIST遺伝子が関与する
- e) Apert症候群ではCrouzon症候群と比較して知能予後は良好である

7. 鼻の再建に用いられる皮弁について誤りをひとつ選べ

- a) Washio flapは前額部に瘢痕を残しにくい
- b) Rintala flapは鼻背上部の再建には適さない
- c) Axial frontonasal flapの栄養動脈は鼻背動脈である
- d) Median forehead flapはcolor match、texture matchが良い
- e) Nasolabial flapは鼻翼の裏打ちや鼻翼全層欠損の再建に用いられる

8. 顔面の美容外科手術で誤りはどれか

- a) 日本人の重瞼幅は、閉眼時眼瞼中央で6mm前後である
- b) フェイスリフトの合併症の一つとして、耳垂の知覚脱失がある
- c) 眼窩脂肪切除後の球後血腫が生じた場合、圧迫が第一選択である
- d) 頬骨形成術(Reduction malarplasty)で生じる合併症として
眉毛下垂がある
- e) 外鼻形成術で多用される軟骨下切開アプローチは大鼻翼軟骨下縁に
沿った切開である

9. 粘膜下口蓋裂に関係のないものはどれか

a) 口蓋垂裂

b) 正中鼻裂

c) 鼻咽腔閉鎖機能不全

d) 軟口蓋正中部の菲薄化

e) 硬口蓋後縁正中部の骨欠損

10. (不適當問題)